

屋久島町立 金岳小・金岳中学校

金岳だより

平成三十年 一月 十三日 発行

校長

あけましておめでとう、ございます。この一年が穏やかで平和な社会でありました。また皆様にとって希望に満ち幸多き年でありました。心より御祈念いたします。



昨年は、天皇陛下行幸啓により、口永良部島が全国的にも大きく取り上げられ注目を浴びました。今年も、薩摩の偉人たちが活躍した明治維新から百五十周年、NHK大河ドラマでは、「西郷どん」の放映開始など、鹿児島がますます全国的にも大いに注目を集める年となりそうです。地域の方々の話によると、口永良部島にも西郷さんが立ち寄ったというお話も聞かれています。鹿児島島の誇りある治の偉人、西郷どんがここ口永良部島にも縁があったと言っていることをうれしく感じることでした。

さて、今年も干支でいうと戊戌(つちのえいぬ)に当たり、十二支で言う十一番目に位置する戌年ということになります。「戌」という漢字は「一印」と「戈(ほこ)」という漢字から成り立ち、元は作物を刃物で刈り取り、ひとまとめに締めくくることができると言われてきました。昨年の「酉(とり)」が収穫できる状態だとすれば、「戌(いぬ)」は収穫を喜び、感謝する段階だと考えられます。十二支は本来、時刻や方角を表すものでしたが、来たる年への幸せを願う人々の思いと相まって覚えやすい動物などの名称を用い、様々な縁起を担ぐものになっていったようです。科学的な根拠こそありませんが、それでも希望をもつことは、私たちにとって、とても大切なことだと思えます。そこで、始業式では、子供たちに次のようなお話をさせていただきます。

今年の干支「戌(いぬ)」一年には「収穫を喜び感謝する」という意味が含まれていると言われています。三学期も、ぜひみなさんが多くの実りを収穫できる学期にしてほしいと思います。

そこで、多くの実りを収穫できる学期とするために、三学期を「感謝する学期」にしてほしいと考えています。感謝の対象はたくさんありますが、ここでは、五つ紹介いたします。

まず一番目は、愛情を注いでくださった両親・家族・里親の方々への感謝です。感謝の気持ち伝える方法は様々ですが、特に朝の「おはようございます」のあいさつをきちんとし、元気に登校することを心掛けてほしいと思います。

二番目は、学校行事やPTAなどでみなさんを応援してくださった地域の方々への感謝です。地域の方々に会ったら、必ず明るく元気なあいさつをすることで感謝の気持ちを表しましょう。

三番目は、暑さ寒さや雨風からみなさんのことを守ってくれた校舎への感謝です。一生懸命掃除をして、きれいにすることで感謝の気持ちを表してほしいと思います。

四番目は、勉強道具や掃除道具などへの感謝です。大切に使用したり、後始末をしっかりしたりすることで感謝の気持ちを表すことができます。

五番目は、みなさんの成長を一生懸命に応援してくださっている先生方への感謝の気持ちを大切にしたいです。直接「ありがとうございます」と言う必要はありませんが、みなさんが、一生懸命に学習に取り組む姿をみせることで、感謝の気持ちを伝えてほしいと思います。

「感謝は全てを内包する」という言葉があります。平成三十年が、さらに私たちに与えて希望に満ち幸多き年であるためにも、ぜひこの言葉の持つ意味をしっかり受け止め、大切にしていきたいものです。子供たちだけでなく、金岳小中学校に勤務する私たち全ての教職員が、常に感謝の気持ちを持ち、全力で学校教育に取り組んでまいります。昨年同様引き続き、本校の教育活動に保護者・地域の皆様の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

三学期始業式

児童・生徒代表の言葉

冬休みの思い出と三学期の目標

児童代表



休みは、鹿児島や屋久島に行き、家族や親戚と過ごしました。おいしいものを食べたり、色々な所に行ったりして、とても楽しかったです。そして、えらぶでは、鬼火焚きがあったり、とても楽しい思い出がたくさんありました。でも冬休みの私の一番の思い出は、一月五日に、私の七才の誕生日をむかえたことでした。たくさんのおめでとうと言ってもらって、とてもうれしかったです。わたしは、七才になったので、これまでよりもっと運動や勉強にがんばろうと思いました。今日から、三学期です。私は、三学期ががんばりたいと思うことを四つ決めました。

まず一つめは、もうちょっと早く計算ができるようになることです。そのためには、たくさん問題を一人でできるようにがんばりたいです。

二つめは、字を丁寧に書くことです。二学期からお母さんと約束してがんばっているのですが、三学期も続けていきたいです。

三つめは、縄跳びです。もっと長く飛び続けられるように、がんばりたいです。

四つめは、もっと大きな声であいさつをします。大きくあいさつすることで、みんなも私も元気になるからです。

そして三学期が終わると、私は二年生になります。かっこいい二年生になるように、三学期もがんばりたいです。

三学期の抱負

生徒代表

いよいよ今日から、三学期が始まりました。新年早々、私はこうして舞台であいさつをするチャンスに恵まれ、今年も色々なことに積極的にチャレンジする一年にしたいと思っています。



冬休みは、クリスマスや大晦日の紅白歌合戦、お正月など、楽しいイベントがたくさんありました。冬休みの宿題も、ある程度は計画的にすることができましたが、いくつかの宿題は昨日までかかり、少しヒヤッとしてしまいました。

冬休みを終えて、私は三学期の目標を二つ立てました。一つめは、この三か月間を健康に過ごすことです。勉強をするにも運動をするにも、まずは体が元気なことが第一です。毎年、この時期は寒さがますます厳しくなり、インフルエンザが流行するなど、体調を崩す人が増えます。手洗いうがいをしっかり行い、睡眠時間をきちんと取るなど、規則正しい生活を心がけたいです。

二つめは、学習面のことです。二学期は、一学期に比べて定期テストの点数が下がってしまった教科がありました。二学期は行事がたくさんあり、忙しい学期でした。でも、それはみんな同じ条件だったので、自分のテスト勉強のやり方が甘かったのだと反省しています。また、テスト期間だけでなく、普段からの勉強も足りていなかったのだと思います。振り返ってみると、放課後に学校に残って宿題をするなど、自分なりに努力はしたと思います。しかし、家に帰ってからは、あまり勉強をしない日も少なくなかったと思います。三学期は宿題を終わらせるだけで満足するのではなく、その日の授業で習ったことの復習もしていきたいです。四月からは私も三年生になります。いよいよ受験生です。ある先生が「二年生の三学期は、三年生の0学期でもある。」とおっしゃっていました。そのことを自覚して、三学期の学習を頑張りたいです。

この二つの目標を達成するために、今の決意を忘れずに努力を続けていきたいです。

受賞おめでとう

県児童生徒作文コンクール

入選

中学三年

校内持久走大会

十二月九日(土)に、校内持久走大会が口永良部島診療所前を発着点に周辺地や前田までの往復のコースを利用して実施され、小学一年は二キロ、小学三年は一・五キロ、小学五年は二キロ、中学生女子は三キロ、中学生男子は四キロを疾走しました。当日は雲の多い肌寒い日でしたが、多くの保護者や地域の方々の沿道からの応援を受け、試走時以上の好タイムで全員完走することができました。残念ながら今回は新記録誕生までには、あと一歩及びませんでした。取り組んだ成果が発揮された持久走大会となりました。



芸術鑑賞教室



十二月十四日(木)に文化庁委託事業を受け、劇団道化による「知覧・青春」の演劇を鑑賞しました。休憩なしの百分という上演時間にもかかわらず、子供たちは、時の経つのも忘れ一心に見入っていました。本物の芸術に触れた感動が、子供たちの感想の端々にも表れていました。また本校から中学一年生のさんと

教諭(追っ手役)、中学二年生のさんと(親分役)、教諭と 用務員(バスの乗客)

の五名が劇に参加し、会場を訪れた地域の方々や保護者から拍手喝采を受ける程の素晴らしい演技を披露しました。



一学期終業式

児童・生徒代表の言葉

「二学期の思い出と冬休みの目標」



小学五年
二学期には、いろいろな行事があり、たくさん思い出を作ることができました。その中でよくには、特に思い出に残っていることが三つあります。一番目は、運動会です。

途中で雨が降り出し、できなかった競技もいくつかありましたが、ぼくは一つ一つの種目を頑張ることができました。特にかけっこでは、君に追いつくよう一生懸命走りました。

二番目は、学習発表会です。本番当日は、舞台上上がるたびにとても緊張していましたが、すべての発表を頑張りました。でも一番緊張したのは、進行係の仕事でした。五年生になって、初めての役割でしたが、最後まで失敗せずにできたことは、とっても嬉しかったです。

三番目は、天皇皇后両陛下にお会いできたことです。交流センターや空港など警察官やSPがたくさんいて、驚きました。天皇皇后両陛下がいらっしゃる前は、緊張していましたが、実際に目の前にお見えになったときは、とても優しく話しかけてくださったのでその後は緊張が解け、笑顔でお話しすることができました。明日からは、冬休みに入ります。ぼくが、冬休みに頑張りたいことは、二つあります。

一つめは、本をたくさん借りて読むことです。五年生になって、年間目標冊数を百冊にしましたが、本を借りるのを忘れることが多く、あまり家では本を読みませんでした。目標冊数を達成することは難しくなりましたが、冬休みにたくさん本を借りてそして、少しでも年間目標冊数に近づきたいと思っています。

二つめは、勉強を頑張りたいです。二学期に勉強を頑張つて、テストの点数が上がりました。八〇点以上を目標に頑張っていたので、今までより点数が取れるようになって嬉しかったです。三学期には、君も帰って来ます。

君に負けないくらい勉強を頑張りたいです。そのために、二学期にできなかったところを復習したいと思います。冬休みは、この二つの目標を達成できるように頑張りたいです。

「二学期を振り返って」



中学一年
二学期は、行事が盛りだくさんな学期でした。なので、日数は多かったのですが、とても早く過ぎたように感じます。まず最初に取り組んだのは、島民合同大運動会でした。夏休みの後半から応援団演舞とエイサーの練習に取り組みました。大変でしたが、少しずつみんなの心が一つになっていくのが実感できて楽しかったです。運動会当日は途中から雨が降って残念でしたが、練習してきたことは全て出せたと思います。

続いて、学習発表会の準備に入りました。英語暗唱に合奏・合唱、エイサーに総合的な学習の時間の発表・・・その全てやらなければならず、本番までもものすごく忙しい毎日でした。でも、終わってみると「やり遂げた!」という充実感でいっぱいでした。大きな学校では、学習発表会でほとんど出番がない生徒も大勢いるので、とても恵まれていると思いました。

そして、その数日後に屋久島へ泊まりがけで町の英語暗唱・弁論大会へ行ってきました。一年生の僕には難しい課題文でしたが、なんとか

覚えることができました。舞台上立つと緊張しましたが、パートナーのさんと、良い発表ができたと思います。今回の挑戦で僕は、「やればできる!」ということを学んだ気がします。二日目は、鯖節工場と裁判所へ社会科見学に行きました。普段見ることができない部分を知ることができ、とてもよい勉強になりました。

二学期の後半に入ると、秋の一日遠足、一周道路遠行、持久走大会といった、野外で体を動かす学校行事が連続でありました。僕は運動が好きなので、どれも楽しみました。口永良部の自然の中で、すてきな思い出になりました。特に持久走大会では、目標のタイムを超えることができたので、うれしかったです。

勉強面については、二学期になると教科書の内容が一学期のときよりも難しくなり、定期テストの成績が下がってしまった教科もありました。行事の準備で忙しいのはみんな同じなので、自分のテスト勉強のやり方に甘い部分があったのだと思います。この冬休みの間に二学期の復習をして、三学期に備えたいです。

一月・二月前半の主な行事予定

日	月	行事
十五日	一月	避難訓練(噴火)
十六日	一月	ふれ合い給食
十七日	一月	鹿児島学習定着度調査 (小五・中一・二年)十八日迄 実力テスト (中三年)十八日迄
十八日	一月	司書補来校(十九日)
二十四日	一月	ALT来校(二十五日)
二十五日	一月	標準学力検査 (小一年)二十六日迄
二日	二月	立志式
五日	二月	家庭教育学級試食会・合同会食
八日	二月	司書補・ALT来校(九日)
九日	二月	学校関係者評価委員会
十日	二月	土曜授業
十一日	二月	建国記念の日
十二日	二月	振替休日
十四日	二月	学年末テスト(十六日)